

競 技 注 意 事 項

1 規 則

本大会は2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

2 練 習

- ・練習は、補助競技場を使用する。但し、跳躍競技・投てき競技の練習は、招集完了後、競技開始40分前から、競技場内で競技役員の指示により行うものとする。
但し棒高跳は、競技開始60分前から行うものとする。
- ※公園内や駐車場など競技場外での練習は一切禁止とする。
- ・補助競技場(サブトラック)は1日目は13時から、2日目以降は8時から利用できる。
- ・練習は、競技役員の指示に従い、安全に留意して行うこと。

3 競 技 場

- ・本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mmである。フィールドは約18mmである。
走路の保全と競技者の安全のために、競技規則TR5を参照されたい。
- ・競技場の開門時間は1日目が12時30分、2日目以降は7時30分の予定とする。
- ・開門前の応援席確保については、正門のところから各団体 2名が競技場フェンスに沿って整列すること。
他の者については、一般通行人の妨げにならないよう、レストハウス前広場かサブトラック内で待機すること。

4 招 集

- ・招集場所は、100mスタート付近のスタンド下(第4倉庫)に設ける。但し、棒高跳は現地にて行う。
- ・招集は下記の通りである。招集に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。
 - トラック種目………競技開始40分前から20分前まで (リレー種目は7. 参照のこと)
 - フィールド種目………競技開始60分前から40分前まで (棒高跳は80分前から60分前まで)
- ・招集要項
 - 1 競技者は招集完了時刻までに、招集所にてアスリートビブスを付けたユニフォームを着用し競技者係にチェックを受ける。
 - 2 1つの種目に出場していて、他の出場種目と招集時刻が重なる場合は、その事を本人又は代理人が、招集所(競技者係)に申し出て了解を得ること。
 - 3 競技者は競技開始10分前に、各競技場所にて最終点呼を受ける。
 - 4 男子5000m、高校男子5000m、高校女子3000m、高校男女5000mWについては、アスリートビブスを持参し、特別ナンバーカードを受け取る。

5 アスリートビブス(ナンバーカード)

- ・アスリートビブス(横浜陸協指定)は、2枚をユニフォームの胸と背に結着すること。
但し、跳躍種目の競技者は1枚を胸又は背に結着するだけでもよい。
- ・本大会申込時にアスリートビブスを購入依頼した者は、本部まで取りに来ること。
- ・トラック種目は、競技者係で腰ナンバー標識を渡されるので、右腰に結着する。
競技終了後、各自持ち帰ること。
- ・男子5000m、高校男子5000m、男子10000m、女子3000m、高校男女5000mWについては、競技者係で特別ナンバーカードを渡されるので、これを胸と背に結着する。
また、男子5000m、高校男子5000m、男子10000m、高校男女5000mWは、周回確認用チップの入った腰ナンバー標識を渡されるので、これを左腰に結着する。
周回確認用腰ナンバーカードは、ゴール後、係に返却し、特別ナンバーカードは持ち帰ること。
- ・アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて、再発行を受けること(2枚300円)。
選手本人作成のナンバーカードは認めない。
- ・男子5000m、高校男子5000m、男子10000m、高校男女5000mWに出場する競技者は安全ピンを16本用意し、その他の競技者は、競技種目に応じて必要な数の安全ピンを用意すること。

6 トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順について

- ・トラック競技予選の組・走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ・トラック競技準決勝、決勝の組走路順は本部で抽選し、本部裏通路の掲示板に掲示する。
- ・タイムレース決勝の種目では、最高記録を参考して番組編成を行うため、同一組に同じ所属の選手が入る場合がある。
- ・男子5000m、高校男子5000mは段差スタートとする。
- ・シードレーンは種目により異なり、競技規則TR20.43、45を用いる。

7 リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙に記入し、1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所に提出する。但し2日目高校女子4×100mR、高校男子4×100mR、男子4×100mRの予選においてのみ、競技開始1時間前までの提出とする。(リレーオーダー用紙はプログラムの最終ページにある)
- ・参加チームは招集完了時刻までに4人揃って、招集所にてアスリートビブスを付けたユニフォームを着用し、競技者係にチェックを受けること。
- ・各走者は現地にて競技開始10分前に点呼を受ける。
- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは、原則として4名とも同色系のものとする。
- ・4×100mRでは、1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。
- ・招集完了時刻前であっても、一度申告した編成の変更(オーダー用紙の差し替え)は認められない。
また、医務員の判断による変更は出場選手の変更のみ認められ、編成(走る順番)の変更は認められない。
(競技規則TR24)
- ・腰ナンバー標識は、4×100mRは4走のみ、4×400mRは2走・3走・4走が右腰に結着すること。

8 計 時

- ・すべてのトラック種目について電気計時(1/100)で行う。
- ・長距離種目では、次に示す制限時間以内に最終周に入っていない者は競技を打ち切る。
男子・高校男子5000m 21'00" 男子10000m 38'00" 女子5000m 22'00"
男子・高校男女5000mW 35'00"

9 トラック競技の決勝進出・順位決定

- ・準決勝、決勝における走路順は、2025年(公財)日本陸上競技連盟競技規則に従って行う。国内ルールは適用しない。
- ・タイムにより次のラウンドへの進出を決める時、最下位で同タイムの競技者が出た場合は、1/1000秒以上の差があれば優劣を判定する。それでも判定できない場合は抽選とする。
- ・高校男子5000m、高校男子3000mSCはタイムレース決勝で行う。

10 スタートについて

- ・スタートの合図はイングリッシュコマンドで行い、1回目の不正出発で失格とする。
- ・スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)が与えられる。
- ・本大会では、同一種目のイエローカード2枚で当該種目のみ失格(レッドカード)とする。
但し、競技会からの除外はしない。

11 フィールド競技について

- ・走幅跳、三段跳においてAピットはトラック側、Bピットはスタンド側とする。
- ・男子三段跳において、踏切板から砂場までの距離は、一般が12m、高校を11mで行う。
- ・女子三段跳において、踏切板から砂場までの距離は、9mで行う。
- ・フィールド競技の計測ライン及びバーの上げ方は、各審判主任の指示によるものとする。
各種目の点呼時に確認されたい。
但し、男子棒高跳は3m20から競技を開始する。

12 用 具

- ・競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。
但し、砲丸、円盤、やり、ハンマーについて検査を受け承認されたものに限り、個人所有のものが使用できる。
(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。)
- ・競技用シューズの靴底の厚さについては、トラック・フィールドとも20mm以内を守ること。

13 表 彰

- ・各種目3位まで表彰し賞状を授与する。
- ・高校の学校対抗は、合計得点により男・女それぞれ1位から8位まで表彰する。

14 抗議について

- ・競技規則TR8にもとづき、審判長への抗議は競技者自身もしくは代理人から口頭でなされる。
正式アナウンス後30分以内とする。
但し、同一日に次のラウンドが行われる種目は15分以内とする。

15 欠 場

- ・各種目にやむを得ず欠場する者は、招集完了時刻までに競技者係に申し出ること。

16 助 力

- ・競技場内での助力は禁止とする。
スタンドからの助言については競技運営並びに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。
文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。
また、ビデオ・ラジオ・CD・携帯電話等の通信機器もしくは類似の機器等を競技場内に持ち込むことはできない。
(競技規則TR6)
- ・監督、コーチによる助言については観客席と競技場内の間で行うものとする。
助力とみなされず許可されるものに以下の項目がある。
「フィールド種目に出場している競技者が監督・コーチから手渡された録画再生機器や録画映像をその場で再生し、その場で観客席の監督・コーチに返却する。」
(競技規則TR6)

17 そ の 他

- ・競技会で発生した傷害については主催者側で応急処置をするが、保険加入等、各自で事故に対しての対策を万全にして競技会に参加すること。また、アイシング用の氷は各競技者、チームで用意すること。
- ・プログラムの訂正がある場合は、本部総務まですみやかに連絡すること。
- ・競技終了後、スタンド等にゴミを残さないよう自席の清掃をすること。
ゴミについては各自持ち帰りを原則とする。
- ・本競技場メインスタンドでのテントの張り出しは禁止する。
- ・メインスタンドでの部旗、横断幕等の張り出しは禁止する。
- ・トラック競技のスタート時など、競技運営に支障をきたす応援、特に声を出しての応援は禁止する。
また競技場内での付添い及び応援は一切禁止する。
- ・競技場内および練習場内への飲料の持ち込みは水のみとし、その他の飲料は持ち込まないこと。
- ・更衣室、本部裏通路など共有のスペースは占有の使用を認めない。
- ・更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷くことを禁止する。
- ・三ツ沢公園では競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。
- ・貴重品は各自で保管し、盗難・紛失には十分注意すること。
- ・記録証は、記録情報処理室にて 一部500円で発行します。
- ・競技終了後は、速やかに競技場より退場すること。
- ・参加各校(高校・中学)の顧問は競技役員または補助役員として競技運営にご協力ください。
競技開始1時間前(1日目13:00、2日目以降8:00)までに学校受付け及び役員受付けを済ませてください。

☆ 安全対策について

- ・ 競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らない。
- ・ 本競技場、サブトラックの練習では決められたレーンを守り常に安全確認を怠らない。
(※1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンは流し等で使用する予定です。状況によって変更の指示があります。)
また、本競技場、サブトラック以外でのウォーミングアップ、練習は禁止です。
- ・ 周囲の安全を確認し、審判員・監督・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先する。
- ・ トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認をおこなう。
- ・ ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いをおこなう。
- ・ 投てき物を持った状態での空ターンや助走練習は、公式練習以外では行わない。
- ・ 投てき物回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。

☆ 三ツ沢公園レストハウスの使用について

三ツ沢競技場レストハウスは陸上競技場に付随する占有施設ではありません。

レストハウス内のトイレ・更衣室・通路は 共有スペースですから、占有使用は認められておりません。

よって大会開催にシート・マット等を敷き占有する等の使用 方法は認められておりませんのでご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

尚、大会開催時に通路等に占有物等が確認されましたら、大会本部として撤去致します。